

令和6年度 学校経営方針

1 学校の教育目標

- | | |
|-------------------------------|-----|
| <input type="radio"/> 心ゆたかに | (徳) |
| <input type="radio"/> 体たくましく | (体) |
| <input type="radio"/> 賢い生徒の育成 | (知) |

〈調布市教育プランは徳、知、体の順〉

2 目指す学校像（学校スローガン）

「澄み渡る心 さわやかな態度 熱い姿勢」を学校スローガンとして、温かさに包まれ、生徒一人一人が輝き、地域に愛される学校を目指す。

3 目指す生徒像

- 心ゆたかで、他の人を思いやれる生徒 (徳)
- 体たくましく、何事にも全力で挑戦する生徒 (体)
- 目標に向かい進んで学ぶ賢い生徒 (知)

4 目標達成のための基本方針

(1) 心ゆたかで、他の人を思いやれる生徒を育成するために

- ①自分を大切に、他の人の良さや違いを認め合うことができる人権教育の推進。
- ②自他の生命を尊重することや思いやりの心を醸成する、考え議論する道徳の推進。
- ③学習・生活規律を通して自律的行動が身に付けられる、生徒指導の充実。

(2) 体たくましく、何事にも全力で挑戦する生徒を育成するために

- ①望ましい食習慣や食を選択する力を身に付けることができる食育の推進。
- ②心の健康を保持するために、個に応じたきめ細かな教育相談や特別支援教育の充実。
- ③望ましい勤労観・職業観や社会性を身に付け、進んで安全・安心な社会づくりに参加し、貢献できる資質や能力の育成。

(3) 目標に向かい進んで学ぶ賢い生徒を育成するために

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、適切な指導計画・評価計画を基に、少人数・習熟度別指導等の推進。
- ②インクルーシブ教育の視点に立った授業の構築。
- ③モバイル端末の活用を通して、「個別最適な学び」、「協働的な学び」を一体的に展開。
- ④教科の系統性を踏まえ、義務教育9年間を通した指導体制の構築。

5 目標達成のための具体的な方策

(1) 心ゆたかで、他の人を思いやれる生徒を育成するために

- ①4月の調布市防災教育の日に「生命の尊さ」、6月、11月及び2月の東京都ふれあい月間に「いじめ防止の指導」や「思いやり」、「友情」等を内容項目とした授業を実施する。
- ②12月の調布市いのちと心の教育月間に、内容項目「生命の尊さ」の授業を実施する。また、道徳授業地区公開講座を実施し、保護者、地域への理解・啓発を図る。
- ③学級への所属感を高め、生徒が落ち着いて過ごせる居場所をつくり、心理的安全性を感得させる。

- ④より良い学校生活を築くために、体育祭・合唱コンクールなど体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、居場所づくりや絆づくりを推進する。
- ⑤旅行・集団宿泊的行事を通して、見聞を広め、自然や文化に親しむとともに、より良い人間関係を築くなど集団の一員としての自覚を促す。
- ⑥オリンピック・パラリンピック教育の学校2020レガシーとして「ボランティアマインド」, 「障害者理解」, 「豊かな国際感覚」の育成を図る。
- ⑦あいさつ運動(市教委や地域団体と連携), 授業, 朝礼, 学年集会をはじめ意図的・計画的な学年・学級経営を活用して協働体制をつくり, あいさつ, 礼儀, 時刻を守る等の基本的な生活習慣について, 継続的に指導する。
- ⑧学校いじめ防止対策委員会の取組やふれあい月間, 毎月の生活アンケート, SNS東京ノートの活用等により, いじめの未然防止, 早期発見, 早期対応, 重大事態への対処に努め, いじめを根絶する。また, SOSの出し方教育を推進する。

(2) 体たくましく、何事にも全力で挑戦する生徒を育成するために

- ①職場体験, 福祉体験, 校外学習等の体験的活動を積極的に取り入れ, 探究的な学習を行う。
- ②望ましい食習慣を身に付けた健康な生活のために, 食に関する指導の全体計画に基づいた食育を推進する。また, 食物アレルギーへの配慮を行い, 緊急対応訓練(年2回)や校内研修(年1回)により誤食事故防止を徹底する。
- ③生徒会主催のボランティア活動等により, より良い学校生活を築こうとする自発的, 自律的な態度を育てる。
- ④ESDの視点を踏まえ日本の伝統や文化の継承・発展について学び, 国際社会で活躍する日本人を育成する。
- ⑤東京都児童・生徒体力・運動能力運動習慣等の調査を実施するとともに, 前年度の調査結果を踏まえ, 一校一取組として「投げる力」, 「持久力」を向上させる取り組みを行う。
- ⑥特別支援教育校内委員会を中心に, 不登校生徒や生活指導上配慮が必要な生徒に対して, ガイダンス機能の充実を図り, スクールカウンセラーや関係諸機関と連携を図り, 子どもに寄り添ったきめ細やかな教育相談活動を展開する。
- ⑦安全で安心な学校環境を保持するために, 学校安全計画に基づいた毎月の安全指導や避難訓練をはじめ, 調布市防災教育の日, セーフティ教室, 普通救命救急講習, がん教育, 薬物乱用防止・喫煙防止教室等を通して, 危険回避や安全確保について計画的・継続的に指導するとともに, 情報モラル教育を推進する。

(3) 目標に向かい進んで学ぶ賢い生徒を育成するために

- ①生徒自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設け, 生徒の興味・関心を生かした自主的, 自発的な学習を促す。
- ②学校図書館での資料の活用, 近隣の教育機関, モバイル端末, 地域の人材活用, 体験的な学習を取り入れるなど, 多様な学習形態を用いる。
- ③小中連携教育を推進し, 小中学校の教育活動が円滑に接続できるようにする。
- ④特別支援教室専門員等を活用して巡回相談や関係諸機関と連携を図り, 個別の教育支援計画や個別指導計画に基づき, 校内通級教室及び不登校対応巡回教員・SSW・スクールサポーター等による適応指導教室「step up」を活用した指導・支援を行う。
- ⑤ユニバーサルデザイン, 合理的配慮を取り入れた教育活動を実施する。
- ⑥学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら, 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けられるよう, キャリア教育の充実を図る。
- ⑦小・中・高の12年間を見通したキャリア・パスポートを活用し, 小学校からの進路指導を充実させるとともに, 目的意識をもって生涯にわたり自己実現を図るための態度や能力を育成する。